

令和2年度 第3回沼津市自転車活用推進協議会

議事要旨

| | |
|-------------|--|
| 日時 | 令和3年2月9日（火）～令和3年2月18日（木） |
| 場所 | 書面開催 |
| 出席者 ※敬称略 | 中村委員、赤松委員、清水委員、鈴木（智）委員、佐野委員、鈴木（拓）委員、小野委員、米山委員、河本委員、小松委員、稲葉委員、渡辺委員、栗原委員、中川委員、椿委員 |
| 議事要旨 | <p>全15名の委員からの書面による意見を伺った。</p> <p>1 議題 沼津市自転車活用推進計画（案）のパブリックコメント結果および対応について</p> <p>【意見】</p> <p><u>No. 1 について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・サイクルスポーツが対象になると思いますが、健康サイクリングとしても自由な距離を走ることが出来、良いと思います。狩野川沿いの整備と海岸沿いの戸田方面も安全第一をお願いします。・普段から自転車を活用されている方の意見だと思います。千本浜の堤防は、自転車乗りに限らず、沼津の観光資源として重要であると考えます。多方面の理解や調整は必要なことと思いますが、地域住民、観光者が安心して利用できるような運用をぜひ前向きにご検討下さい。 <p><u>No. 2 について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・市内を車で移動しますが、所々の表示で市民の人達が理解出来ているのか疑問です。告知と説明会を開いて、市民に理解できるようにお願いします。・同意するところ大きいコメントだと感じます。課題として認識されており、計画もされているということであれば、工程表とまでは言いませんが、スケジュールがある程度提示されていれば、より親切ではないかと思います。 <p><u>No. 3 について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・この整備をする前に地元の関係者として会議に参加した時、左側は整備は必要無いと意見を言いましたが、同じ意見がありました。考えると両側の中のブロックは不要と思います。三つ目ガードに近い交差点のこの先通れませんの看板は目に入らず、もっと大きな看板をつけたらと思います。時々ですが、歩いている人も自転車の人も見かけます。危険です。 |

No. 4 について

- ・市民の自転車利用は、通学・通勤が主になっているなか、自転車に乗って行こうと思うようになる安全で安心して自転車に乗れる街にしていきたいです。

No. 5 について

- ・素晴らしい視点だと考えます。「ライフスタイルに組み込む」には、具体的にどうしていけばよいのか（市のサポート等）をしっかりと考え、取り組む働きをしていくべきだと思います。
- ・自転車活用推進にとって、とても貴重な意見をいただいたと思います。たしかに「文化の醸成」では、表現が固すぎて伝わりにくいかもかもしれません。「ライフスタイル」など、なじみやすく浸透しやすい言葉で語ることが必要だと感じました。
- ・商店街に出て、駐輪場はどこか、ここへ置いて良いのか悪いのか考えてしまいます。

No. 6 について

- ・リノベーションまちづくりとの連携も、既存のものから新たな動き方を生み出せると考えますので、沼津発の令和型新自転車文化として、全国へ向けての良い例となるよう進めていければと思います。
- ・確かにそのとおりだと思いました。「次世代」というとアピールとしてはよいですが、日常的に活用できるかとなると、十分な検証が必要となると思います。まずは足元を固める意味から、既存のリソースの活用から始めることは大事だと思います。「楽しさ」に視点を移した修正案はとてもよいと思います。
- ・姫路市の取り組みが紹介されていますが、本市でもEVバスがすでに運行しているかと思います。その取り組みも掲載した方が良いのではないかと。またそれを用いたまち作りの構想と自転車活用をからめて考えることも必要かと思います。
- ・23 移動が楽しめる新たなモビリティツールの検討のページですが、最下部に「姫路市」の取り組みが紹介されています。他のページでも静岡県以外の自治体の取り組みが紹介されておりますが、この部分だけ、強くまたスペースを確保し紹介されています。「移動が楽しめるモビリティツール」ですが、まちづくり、まちおこしのかと感じます。不似合い・違和感を感じます。とは言え、議論のプロセスがわかりませんし、意図があるものと考えますので、修正などを依頼する意見ではありません。
- ・安全で安心して自転車に乗れる交通路の確保は必要かと思います。

その他意見について

- ・ 自転車利用者の安全空間を創出していくため、自転車通行帯、青色矢羽根道路標示のみならず、対象となる路線の道路改良など、将来を見据えた有効な検討を継続していただくことを要望します。こうした施策は、関係機関、団体がより深く連携していくことが、必要と考えます。
- ・ スポーツサイクル、健康サイクル、通学、通勤、ママチャリ等、別ですので、それぞれにあった整備と安全に対する講習、勉強会の開催を定期的にお願います。
- ・ 駐輪場は駅南北にあります。商店街にはどこにあるのかわかりません。
- ・ 理想として市内循環できる2キロ位の専用道路をお願いしたいです。
(文化センターと香陵グラウンドを一周する位の自転車専用健康ロードを作ったら良いのでは)
- ・ 自転車に乗るようになるのは、小3・小4年で、ルールをあまりよく知らないまま大人になって自由に乗る人がいると思われまますので、講習会は開催した方が良いでしょう。
- ・ 地域の自転車店で、パンク修理・整備・保険の加入をしている広報をして欲しいです。

以上

【市の考え方・対応について】

沼津市自転車活用推進計画（案）のパブリックコメント結果につきまして、各委員の皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

今回いただいた各委員の皆様からのご意見を参考に検討した結果、パブリックコメント結果に対する市の考え方・対応については原文のままといたしますが、沼津市自転車活用推進計画策定および各施策の推進にあたりましては、ご意見を参考に組み込んでまいります。

以上